

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 5月13日 更新

事務事業名		たばこ耕作振興協議会助成事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	坂本 卓博
	施 策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	長島 正和
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農政班	(内線)	5223
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 5	事業連番 10281	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	葉たばこの品質改善、適熟度の完全収穫による生産性の向上を図り、近代的たばこ耕作による安定生産地の確立を図っている協議会に対しての活動費の助成である。旧町の時から両町とも団体への助成があった。合併に伴い団体も協議会として発足し引き続き団体の要望により助成を継続している。生産者戸数も年々減少しており葉たばこ生産を取り巻く情勢は今まで以上に厳しくなっている。
【業務の流れ】	・協議会からの計画書、交付申請書等の提出を受け、補助金の交付に係る事務を行う 補助金関係事務の流れ：①事業の把握 ②事務承認申請 ③補助金内示 ④補助金交付申請 ⑤補助金交付決定 ⑥概算払申請 ⑦補助金交付 ⑧実績報告 ⑨事業確定通知
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	議員から、いつまで活動助成が必要なのかという意見は出ている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) たばこ耕作振興協議会が行う活動を支援し、共同による葉タバコ播種や育苗成、研修等に対して補助金を交付した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) たばこ耕作振興協議会からの事業申請受付から補助金確定までの一連事務	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 助成件数	件		
⇒ イ:			
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 協議会	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
	人	⇒ ア: 協議会会員数	
		⇒ イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) たばこ農家の情報交換や交流の場を設定してもらう。	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
	件	⇒ ア: 協議会の活動件数(有効な会合、イベントなど)	
	%	⇒ イ: 参加者の割合	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 協議会活動に対する補助であることから活動や研修等の数値とする。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア 件		0	0	1	1	1	1	1	1
	イ									
② 対象指標	ア 人		18	13	12	12	12	12	12	12
	イ									
③ 成果指標	ア 件		13	13	12	12	12	12	12	12
	イ %		100	100	100	100	100	100	100	100
投 入 費 用	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円		1,643					
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円			300	300	300	300	300
	(A) 事業費計		千円	0	1,643	300	300	300	300	300
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
			千円							
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数		人	2	2	4	1	4	4	4
		延べ業務時間	時間	130	130	50	100	50	50	50
	(B) 人件費計		千円	508	494	199	364	199	199	199
トータルコスト(A)+(B)			千円	508	2,137	499	664	499	499	499

事務事業名	たばこ耕作振興協議会助成事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 ☒ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 J T が近年のたばこに関する情勢から、葉たばこ生産者に対し廃作希望調査が実施され、令和 4 年度の葉たばこ生産者は 13 戸までに減少しているが、今後の廃作農家募集等により、廃作農家が増加することが懸念される。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ 【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒ 【理由】 協議会活動で生産性の向上や経費削減に向けた研修等を行うことで、安定した収入に向かっていく。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 類似するものがなく他に手段がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒ 【理由】 会員の減少により、会員数に応じた補助の検討余地がある。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 最小限の事務なので、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】 受益者負担もあり、均衡がとれており公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 市の基幹産業の一つである農業の振興を図るための事業であり適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

有効性については、協議会活動で生産性の向上や経費節減に向けた研修等を行うことで、安定した収入に向かっていく。
効率性については、会員の減少により会員数に応じて補助の検討余地がある。但し、人件費の削減余地はない。
公平性については、受益者負担もあり、均衡がとれており、公平・公正である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								